

# 南中だより

2020.12.18 発行  
(第8号)

## 【 冬休みの過ごし方について 】

今年度は、12月24日(木)から1月7日(木)までの15日間は冬休みになります。  
先日、発表された年末恒例の『2020 新語・流行語大賞』(現代用語の基礎知識選)の“年間大賞”に「3密」が、今年の世相を表す漢字1字(日本漢字能力検定協会選)には「密」が選ばれるなど、今年は、昨年12月に中国の武漢市で初めて発生して以来、新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるった1年間でした。ワクチンの開発による感染拡大の収束が期待されていますが、現在全国的に感染が急速に拡大しており、北海道旭川市や大阪市、名古屋市等では医療崩壊が懸念され、根本的な「治療薬」の開発にも目途が立っていない厳しい現状があります。



(京都・清水寺にて)

1月になると、3年生は入試が始まります。また、どの学年においても1年間の学習のまとめの時期になります。これまで同様に体調管理には十分気を配っていききたいものです。ご家庭におかれましては、冬休み期間中、次の点にご留意いただき、特に新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、引き続き適切な対応をしてくださいますようお願いいたします。

- 毎日、検温や健康観察を行い、発熱や風邪の症状等がある場合は、自宅で休養し、状態に応じて早めに病院で受診してください。
  - 「3密」や「大声」は避け、「マスクの着用・手指消毒」といった感染症対策をお願いします。
  - 冬は空気が乾燥し、ウイルスや飛沫が非常に飛散しやすい時期です。換気を心がけ、帰宅後は必ず、手洗いをする習慣を身につけてください。
  - 新型コロナウイルス感染症を理由とした「いじめ・偏見・差別」につながるような行為は断じて許されるものではありません。正しい認識に基づいた冷静な対応をお願いします。
  - お子様や同居する家族がPCR検査を受ける(受けた)場合や感染した場合、濃厚接触者として特定された場合は、速やかに学校に連絡ください。  
(小松島南中学校: TEL 38-6612)
- ※ 12月29日(火)～1月3日(日)の間は、学校閉庁日のため、緊急の連絡がある場合は、小松島市役所に電話をお願いします。担当者から、学校に連絡が入ります。  
(小松島市役所: TEL 32-2111)



防災訓練 (12/04)



園芸部による植栽 (12/07)



修学旅行説明会 (12/11)

## 【 1 年 生 】

12月15日（火）の5校時に、本校の卒業生を含む小松島高校の生徒による授業が行われました。高校での総合的な探究の時間で学習したことを、授業形式で本校1年生の生徒たちに伝えてくれました。クラスによって、学習内容は違いましたが、子どもたちは熱心に取り組んでいました。



A組



B組



C組



D組

## 【 2 年 生 】

12月7日（月）の6校時に、2年生を対象にした「消費者教育講演会」を実施しました。鳴門教育大学大学院准教授の坂本有芳先生から、18歳(成人)になってから、様々な契約トラブルにあわないように、クーリングオフ制度や様々な契約、日常の消費生活における注意すべき点等について教えていただきました。



## 【 3 年 生 】

12月11日（金）に、高校を含む様々な入試に向けての面接対策のビデオを見ました。面接は、ほとんどの生徒たちにとって初めての経験だと思います。これから本番に向けて学校でも面接練習を計画していきます。一人ひとりの子どもたちの夢が実現しますように、全教職員で支えていきたいと思っています。



## 【 来年にむけて… 】

今年は終始、新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。これまでの歴史を振り返ると、14世紀に流行した「ペスト」、15世紀は「梅毒」、17世紀～18世紀にかけては「天然痘」、近代では「結核」や「コレラ」など、人類は様々なウイルスや細菌等による感染症との闘いに勝ってきました。今回の新型コロナウイルスも必ず近い将来、克服できる日が来ると信じています。1日も早く治療薬が開発され、平穏な日常がもどることを願いたいと思います。

子どもたちはもとより、保護者の皆さまにおかれましても、新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止のために、臨時休校措置をはじめ、様々な場面において学習活動が制限され、何かと窮屈な1年間であったかと思います。その中でも、保護者の皆さまには、本校の教育活動にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。来年も引き続き、ご支援・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、よいお年をお迎えください。子どもたち、そして保護者の皆さまにとって、来年が素晴らしい年になりますよう、教職員一同、心から願っています。

